

留日・旅日中国人の歴史、華僑の生活史、日本及び中国の新聞業の発展を記録する『日本華僑報』。待望の電子書籍化！

電子書籍

日本華僑報

創刊は、1999年2月。以来、今日に至るまですべての在日中国人に向けて日本で24年間発行されている中国語新聞。戦中・戦後に来日した5万人以上の「老華僑」と、日中国交正常化（1972年）、日中平和友好条約締結・中国の改革開放（注1）（1978年）後に留日・旅日目的で来日、社会の様々な分野で活躍している「新華僑」との歴史記録。

注1：改革開放とは、中国を共産主義経済から資本主義経済に転換させること、またその成り立ちを指す。中華人民共和国の鄧小平の指導体制の下で、1978年12月に開催された中国共産党第十一期中央委員会第三回全体会議で提出、その後開始された中国国内体制の改革および対外開放政策のこと



解説：加藤 祐三（横浜市立大学名誉教授）

第1回配本（分売可） 2024年3月発売予定 ※年代を遡る形での刊行となります。

（2019年1月10日号～2022年12月25日号） 本体価格 121,000円＋税 ISBN 978-4-86759-471-1

集	年	号	本体価格	ISBN
第1集	2019年上期	（2019年1月10日号～2019年6月25日号）	本体価格 24,200円＋税	ISBN 978-4-86759-472-8
第2集	2019年下期	（2019年7月10日号～2019年12月25日号）	本体価格 24,200円＋税	ISBN 978-4-86759-473-5
第3集	2020年	（2020年1月25日号～2020年12月25日号）	本体価格 24,200円＋税	ISBN 978-4-86759-474-2
第4集	2021年	（2021年1月25日号～2021年12月25日号）	本体価格 24,200円＋税	ISBN 978-4-86759-475-9
第5集	2022年	（2022年1月25日号～2022年12月25日号）	本体価格 24,200円＋税	ISBN 978-4-86759-476-6

※ディスク版もあります。（詳しくは弊社までご連絡下さい。）

全12回配本配本予定

1アクセス・3アクセス共に同一価格です

『人民日報 海外版 日本月刊 電子書籍版』との併読をお奨めします。

同一プラットフォーム間では、相互横断検索が可能

本誌の試読は、刊行と同時に閲覧が出来ます！

試読サイト：<https://kanae-ebook-0303.actibookone.com/>





1988年前後から、「留日大潮」と呼ばれる現象が起こり、毎年約4万から5万人の学生が日本に留学した。
 2年間の日本語学校、4年間の大学、2年間の修士課程を経て、1999年前後に日本の企業に就職し、生活を安定させ、「留学生」から「華僑」へと変わる。
 当時の日本社会には、戦中・戦後に来日した5万人以上の「華僑」がおり、彼らは「老華僑」(注1)と呼ばれ、改革開放後に日本に来た中国人は「新華僑」(注2)と呼ばれた。
 『日本新華僑報』の創刊時期は、中国留学生が「新華僑」に変わる重要な歴史的瞬間であった。

注1：1970年代以前に中国大陸および香港・マカオ、さらに台湾から海外へ移住した人々
 注2：1970～80年代以降に海外へ移住した人々

電子書籍版発刊にあたって(敬称略)

吳 曉 楽 株式会社 日本新華僑通信社 代表取締役

日本新華僑通信社は1999年3月に設立し、日本在住の華僑向け中国語新聞「日本新華僑報」を発刊いたしました。2021年6月より「日本華僑報」と改称し、広く華僑華人の方々にご購読いただいております。

また、2011年9月には、中国の真の姿を紹介し、経済交流を推進すべく日本語月刊誌「人民日報海外版日本月刊」を創刊いたしました。

本誌は、日本の首相経験者、国会議員、都道府県知事、ノーベル賞受賞者、中日経済交流従事者、科学研究分野のリーダー、在日華僑華人の名士らと対話し、中日両国の読者に相互信頼と協力の橋を架けてきたと自負しております。

この度、縁あって電子書籍として復刊する運びとなり、いつでも過去の記事の閲覧が可能となりました。是非ご活用ください。

お奨めします

中国近現代史(経済・市場・社会情勢・ネット事情・観光・科学技術・中国大使館ニュース・最新動向・日本報道・日中関係)、共産党史、メディア史、大学図書館、公共図書館、専門学校、組織・団体・企業等

株式会社かなえ

〒170-0014 東京都豊島区池袋1-10-8
 TEL : 03-3982-6633 FAX : 03-6789-5706
 Email : info@kanae-book.co.jp
 URL : https://kanae-book.co.jp

取扱店

紀伊國屋書店 学術電子図書館
KinoDen
 Kinokuniya Digital Library